

DICOMO2014 論文フォーマット

情報太郎^{†1} 処理花子^{†2}

このパンフレットは、DICOMO2014 に投稿する論文の最終版を、MS-Word を用いて作成し提出するためのガイドである。このパンフレットでは、論文作成のための MS-Word テンプレートファイル (.dot) について解説している。また、本パンフレット自体も、情報処理学会論文誌用の MS-Word テンプレートファイル (<http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/style.html>) を元に行っているため、必要に応じて雛形として参照されたい。

なお、論文フォーマットについては、上記の原稿執筆案内に記載されたフォーマットではなく、本フォーマットをご利用いただきたい。

DICOMO2014 Paper Format

TARO JOHO^{†1} HANAKO SHORI^{†2}

1. 論文フォーマットについて

ページ数の制限は設けない。フルペーパーに相当する論文を基幹論文誌推薦の対象とする。また、DICOMO2013 より、和文原稿において英語のアブストラクトは記載しないこととした。

英語の題名と著者名が入っていると海外の国際会議などに出した時に検索に引っかかって既発表として落とされるリスクがある。このようなリスクを減らしたいとのことから、研究会からの希望で、必須にするかどうかについて議論が行われた。この結果として、**DICOMO2014 では、本文の言語と同じ言語の題名と著者名は必須、そうでない言語（英語の場合によっては日本語）はどちらでもよいこととする。**

その他の本論文の体裁については「情報処理学会論文誌（ジャーナル）原稿執筆案内」

(http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/ronbun_j_prms.html) に準拠する[1]。このフォーマットは、上記案内に準拠したものである。

なお、著者も含めて論文誌作成に関わる全ての人々の労力を軽減するためにも、原稿を作成する前に執筆案内を良く読んで規定を守っていただきたい。

参考文献

- 1) 情報処理学会論文誌(IPSJ Journal)原稿執筆案内、入手先
<http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/ronbun_j_prms.html>
(2014.03.25).

^{†1} (社)情報処理学会
IPSJ

^{†2} マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム
DICOMO2014